

一般社団法人日本カウンセリング学会栃木県支部会 全国研修会

実行委員長 八島 禎宏

今年も栃木県支部会は、鬼怒川大会と称される現地開催とオンデマンド配信のハイブリッド形式の研修会を開催します。

昨年の現地開催は、多くの研修会がリモートで行われている昨今、果たして参加して下さる受講生はいらっしゃるのだろうかという不安がありました。しかし、遠隔地からの参加者を含め各コース定員以上の申込みがあり、対面での研修を望んでいる方も多かったことに気づかされました。また、温泉ホテルに宿泊して非日常の空間で研修を受けるということも参加者に人気となっているのではないかと考えます。

オンデマンド配信は、今日的な課題に取り組んでいらっしゃる地元の方々に講師をお願いしました。

どうぞ皆様のご都合やご興味に合わせて研修の形式をお選びください。ご一緒に充実した時間を過ごしましょう。

- 主催** 一般社団法人日本カウンセリング学会栃木県支部会
- 協力** 一般社団法人日本カウンセリング学会
- 期日** 【オンデマンド配信】 2025年8月7日(木)10時~9月8日(月)10時
【現地開催】 2025年8月7日(木)・8日(金)
- 現地会場** 鬼怒川プラザホテル(栃木県日光市鬼怒川温泉滝 530) 電話 0288(76)1031
東京(JR 新宿・東武浅草)より JR 特急・東武鉄道特急で 120 分 鬼怒川温泉駅下車
鬼怒川温泉駅より タクシー約10分、徒歩約20分

5 現地開催日程

		12:30	13:00	13:30			18:30	19:00	21:00
第1日目 (8/7)		受付	開講式	Session 1・2 (300分)		懇親会 OR 夕食			
第2日目 (8/8)	朝食		Session 3 (150分)	閉講式	解散				
	7:00 9:00		11:30 11:45 12:15						

6 研修講座

I オンデマンド配信 ◆定員 各コース50名(先着順) 8月7日(木)10時~9月8日(月)10時

コース	講座名	講師	時間
A	様々な依存症、その症状や治療法について ~ギャンブル依存症を中心に据えながら~	駒橋 徹 (特定医療法人清話会 鹿沼病院)	2.5
B	脳から観る発達特性に関わる生きづらさと創造性 ~ヘルスエクイティ社会を目指して~	門田 行史(自治医科大学ヘルスエクイティ地域共創センター・とちぎ子ども医療センター)	2.5
C	I 神経生理心理学の基礎	村田 明日香(作新学院大学)	2.5
D	II カウンセリングにつながる神経生理心理学	村田 明日香(作新学院大学)	2.5

II 現地開催 ◆定員 各コース15名(先着順) 8月7日(木)・8日(金)

コース	講座名	講師	時間
E	学校教育は今、何が必要なのか ~子どもの問題行動の急激な変化に 대응して~	小林 正幸(NPO 法人元気プログラム作成委員会・東京学芸大学名誉教授)	7.5
F	カウンセラーのためのマインドフルネス実践編	鈴木 健一 (Well-being Center Takibi)	7.5
G	クライアントからのフィードバックを活かしカウンセリング効果を上げる ~ROM の概要と活用~	田所 撰寿(作新学院大学)	7.5

【I オンデマンド配信】 8月7日(木)10時~9月8日(月)10時

オンデマンド配信参加希望の方は、右の二次元コードまたは下記のURLからお申し込みください。

<https://forms.gle/zqhmioVsuhFrLs5QA>



オンデマンド配信

A 様々な依存症、その症状や治療法について ～ギャンブル依存症を中心に据えながら～ 2.5時間 (定員50名) 講師 駒橋 徹(特定医療法人清話会 鹿沼病院)

2016年12月、「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」、いわゆるIR推進法が成立した。この法制定に際し、衆議院および参議院の両院において議員による附帯決議が行われ、その中で「ギャンブル等依存症患者への対策を抜本的に強化すること」が明記された。つまり、IR推進と引き換えに、依存症対策の強化が不可欠であることが、国会から正式に示されたのである。一方、世界保健機関(WHO)が定める国際疾病分類第10版(ICD-10)およびアメリカ精神医学会(APA)の診断基準第4版(DSM-IV)では、「病的賭博」という表現が用いられていた。しかし、DSM-5では「ギャンブル障害」という新たな名称が採用された。これは、ギャンブル依存症がコントロール障害、耐性、離脱といった症状を伴い、その脳内メカニズムや有効な治療法がアルコール依存症や薬物依存症と共通していることが明らかになったためである。また、依存症にはギャンブルやインターネットゲームなどの「行為への依存症」と、アルコールや覚醒剤などの「物質への依存症」があることが定義された。本講では、ギャンブル依存症を中心に据えつつ、さまざまな依存症の症状、治療法について解説する。

B 脳から観る発達特性に関わる生きづらさと創造性 ～ヘルスエクイティ社会を目指して～ 2.5時間 (定員50名) 講師 門田 行史(自治医科大学ヘルスエクイティ地域共創センター・とちぎ子ども医療センター)

発達特性を持つ人々は、注意の維持や感情のコントロールに難しさを感じることもある一方で、独創的な発想や高い適応力を発揮することもある。本講座では、脳科学研究の最新知見をもとに、前頭前野の働きやデフォルトモードネットワークの活動が、これらの特性にどのように関与するのかを解説する。特に、脳の情報処理の違いが、生きづらさを生む要因となる一方で、創造的な思考や社会貢献につながる可能性について考察する。さらに、ケアを受ける側と提供する側のヘルスエクイティの視点から、心理的負担の偏りに着目し、相互理解を深めることの重要性を議論する。発達特性を持つ人々が適応しやすい環境づくりや、マインドフルネスを活用した支援策の可能性についても触れ、公平で包括的な社会の実現に向けた実践的なアプローチを目指した現在取り組んでいる国家プロジェクトについて紹介する。

C I 神経生理心理学の基礎 2.5時間 (定員50名) 講師 村田 明日香(作新学院大学 人間文化学部)

第I回「神経生理心理学の基礎」では、神経生理心理学に関する基礎的知識を概観する。中枢神経系(脳と脊髄)と末梢神経系、4つの脳葉(前頭葉、頭頂葉、側頭葉、後頭葉)を中心とする各脳部位の構造及び機能の説明にはじまり、神経生理心理学で扱う心的過程(学習、注意、運動、言語、知覚、記憶、感情など)と心身の関わりについて述べる。さらに、脳や身体のはたらきを測定する神経生理学的指標(脳波、脳イメージング、心電図、呼吸、皮膚電気活動、眼球運動、筋電図、内分泌系など)についても紹介する。

D II カウンセリングにつながる神経生理心理学 2.5時間 (定員50名) 講師 村田 明日香(作新学院大学 人間文化学部)

第II回「カウンセリングにつながる神経生理心理学」では、前半にて神経心理学の基礎と応用に触れ、注意、記憶、遂行機能、言語、運動・行為、社会認知などの高次脳機能障害について紹介する。後半は神経生理心理学に基づくカウンセリング事例について、具体的な事例を挙げながら神経生理心理学に関わる部分について解説する。

【II 現地開催】 8月7日(木)・8月8日(金)

E 学校教育は今、何が必要なのか ～子どもの問題行動の急激な変化に添えて～ 7.5時間(定員15名) 講師 小林 正幸(NPO 法人元気プログラム作成委員会・東京学芸大学名誉教授)

コロナ禍前後で、不登校、小学生の暴力行為、中高校生の自殺の急増に着眼します。今、学校教育は、子どもたちが示す問題行動の意味をしっかりと踏まえ、何をすることが求められるのかを理解し、今、目の前にいる子どもたちにどのような支援に注力すべきなのかを伝えます。重要な支援は4つ。「1.感情を受容する」「2.感情の背後に潜む子どもの要求を確認する」「3.自己有用感を向上させる」「4.アサーションを育成する」ことです。小学生の不登校と暴力行為は、コロナ禍のはるか前から急増し、一方、中学生は不登校の増加と、それと反比例して暴力行為は激減しています。上記の4つの支援は、コロナ禍が加えたパンデミックによる被災ストレス症状と、被災時期に未学習となったソーシャルスキルの学びの補充を行うことに繋がるからに他なりません。演習は、カウンセリングの基礎の支援1と支援2、そして、支援4を中心に行います。

F カウンセラーのためのマインドフルネス実践編 7.5 時間(定員 15 名)

講師 鈴木 健一 (Well-being Center Takibi)

カウンセリングにおいて「気づき」は重要な要素とされながらも、従来、それは主にセラピストのセンスやトレーニングの中に含まれてきました。一方、マインドフルネスは「気づき」を育む実践を提供し、それによるストレスの軽減や内受容感覚の向上が報告されています。内受容感覚は感情の理解を深め、円滑なコミュニケーションにも寄与するとされています。本研修では、理論的な説明を最小限にし、実践体験と参加者同士の対話を重視することで、より深い内的体験を通じた学びを提供します。実践を通して、いまこの瞬間の自らの思考や感情、身体感覚に気づき、評価を加えずに受け入れる力を養います。これにより、セラピストとしての臨床力の向上だけでなく、セルフケアにも活かすことが期待されます。マインドフルネスを通じた「気づき」の質を探求し、日々の実践へとつなげる機会となれば幸いです。

G クライアントからのフィードバックを活かしカウンセリング効果を上げる～ROM の概要と活用～ 7.5 時間(定員 15 名)

講師 田所 摂寿 (作新学院大学 人間文化学部)

今日のカウンセリングでは効果(アウトカム)が重要視されるようになり、費用対効果の面でもアウトカム測定が心理学的介入のプロセスでは必須の要因となっています。欧米ではセッションごとのクライアントからのフィードバックである Routine Outcome Monitoring (ROM) の活用が、国の方針としても求められるようになってきています。ROM とは、セッションごとにクライアント評価によりアウトカムを測定し、それを次回以降のセッションへと活用していくものです。多くの研究で ROM の活用によりカウンセリングアウトカムが上がり、ドロップアウト率が下がることが確認されています。研修会では ROM について説明すると同時に、筆者が実践している ROM を活用した臨床実践やスーパービジョンの実際を解説します。また、演習としてロールプレイを行い、ROM を活用した振り返りを体験する予定です。なるべく多くの皆さんが臨床活用できることを目指して、研修会を行いたいと考えています。

7 参加費用

・研修費 【オンデマンド配信】

講座数	金額
1 講座	3,000円
2 講座	6,000円
3 講座	8,000円
4 講座	10,000円

【現地開催】

参加者区分	金額
日本カウンセリング学会員	12,000円
大学生・大学院生 (但し社会人学生は含まない)	10,000円
一般	15,000円

- ・宿泊費【夕食(懇親会)・朝食を含む】 16,000円 ※宿泊は2～3人の相部屋となります。
- ・個室希望の方は、11,000円を追加料金として頂きます。(合計27,000円・先着10名)
※確保できない場合は、連絡いたします。
- ・1日目の19時より懇親会を予定しております。参加を希望されない方はビュッフェでの夕食となります。
懇親会への参加・不参加は、申込み時、該当するところに○をつけてください。
- ・宿泊せずに懇親会に参加される方は、懇親会費8,000円をお振込みください。

8 申込み方法・締切期日 【7月11日(金)までにお申込みください】

- ・オンデマンド配信参加希望の方は二次元コードからお申し込みください。
- ・現地開催参加希望の方は二次元コード、またはFAX(現地開催参加申込書)でお申し込みください。
- ・申込みと同時に参加費を郵便振替、または指定の銀行口座にお振込みください。入金は7月14日(月)までお願いします。
入金確認後、申込み手続きを開始します。
- ・オンデマンド配信と現地開催の両方の研修に参加される方は参加費をまとめてお振込みください。
- ・学生の方は学生証のコピーを送付してください。(社会人学生を除きます)
- ・8月1日以降にキャンセルされた場合は返金できませんので、ご承知おきください。

9 研修証明書

全課程に参加し、研修を修了された方には、研修証明書を差し上げます。この研修会は、一般社団法人日本カウンセリング学会「カウンセリング心理士」資格更新ポイント(オンデマンド配信2.5時間1P、現地開催7.5時間3P)として認められます。

10 申込み・問い合わせ先

〒320-0857 宇都宮市鶴田 2-1-8 ムギショウビル2階	
	栃木県支部会 全国研修会事務局
E-mail cou53@aurora.ocn.ne.jp	HP: http://jacs-tochigi.com
FAX:028(649)1213	電話:028(649)1210
郵便振替 口座番号 00190-6-696402	
ゆうちょ銀行 当座 〇一九店 696402	
加入者名 日本カウンセリング学会栃木研修会	